

令和6年度 事業計画

一般財団法人 津山慈風会

目 次

令和6年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画（概要）	1
中期経営計画および令和6年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会	7
中期経営計画および令和6年度事業計画 津山中央病院	9
令和6年度事業計画 津山中央記念病院	22
令和6年度事業計画 津山中央クリニック	24
令和6年度事業計画 津山中央看護専門学校	25
令和6年度事業計画 津山訪問看護ステーション	26
令和6年度事業計画 津山中央居宅支援事業所	27
令和6年度事業計画 アーバンライフ二階町	28
令和6年度事業計画 ナイスデイ二階町	29
令和6年度事業計画 フィットネス&スパ CARVATA	30
令和6年度事業計画 法人本部	33

令和6年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画【概要】

今年は昭和28年に法人が誕生し71年、昭和29年に津山中央病院を開設して70年、平成9年に国立療養所津山病院の経営移譲を受けて27年を迎えることになります。さて昨今の医療・福祉を取り巻く環境を鑑みますと、団塊の世代が後期高齢者になる2025年がいよいよ目前となり、岡山県北地域ではますます高齢化が進み、患者構成、疾病構成が大きく変わってきております。また食材やエネルギー等の諸物価の高騰など、医療を取り巻く環境は厳しさを増しております。今年度は、医療、介護、障害者サービスの同時改定に加え、第8次医療計画の開始される年度にあたり、大きな変革を迫られることになります。

まずマンパワーの確保が大きな課題になります。医師についてはいよいよ今年度から勤務時間の規制が始まりますが、津山中央病院はA水準を達成することを目標にしております。看護師については、地域の労働人口の減少に伴います確保が難しくなっております。また学生の大学志向が強くなることで看護専門学校の入学生は大きく減少しており、大きな懸念材料となっております。「職員から選ばれる病院」を目標に「働き方改革」や「魅力ある職場づくり」に努めます。具体策として、チーム医療によるタスクシフト・タスクシェア、DX（Digital Transformation）などを重点項目に掲げております（2ページ）。

病床運営については、昨年度、緩和ケア病棟14床を開設することが出来ましたが、依然として限られた数での病床運営となりますので、これまで以上に地域連携の推進と在院日数の短縮が重要な課題となります。地域の医療ニーズに応えるため、病棟機能の向上と在院日数の適正化に津山中央病院グループ全職種をあげて対応します。また新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に限定的になってきておりますが、流行時には使用できる病床数がどうしても制限される傾向ですので、引き続き対策に注力することとなります。関連してBCPの整備も重要なテーマとなります。今年1月の能登震災を教訓に幅広い分野での整備に努めて参ります。

基本方針に掲げる重点項目の取り組みにも引き続き注力します。

「お断りしない救急」については今年度の重点目標の1つ（2ページ）に掲げました。救急医、看護師などのマンパワー確保や受入病床の確保が課題となります。

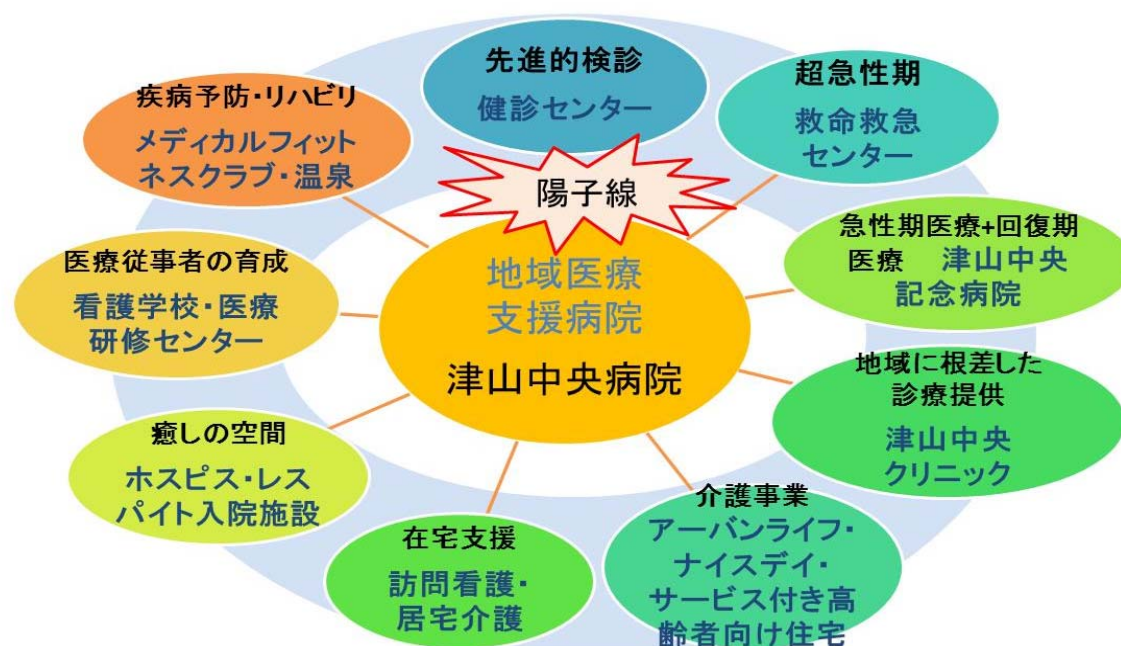
「最先端医療の提供」のため、POWER UP 5で完成した施設についての運用面での充実が課題となります。特に陽子線治療、集中治療室、手術支援ロボット「ダヴィンチ」などを擁する高規格手術室について症例数の拡大に努めます。導入から5年経った手術支援ロボットの運用は安定しており、これまでに前立腺、腎臓、肺、消化器に領域を広げております。今後もそれぞれの領域の症例数拡大を図ります。

この他に地域ぐるみで医療を支えるための連携登録医とのアライアンス強化、回復期・介護・在宅分野の充実（主に二階町のグループ事業所）、健診事業および健康増進事業の拡充、医療インバウンドの拡充、臨床研修医や看護師（看護学校）など医療従事者の育成、といった事業を展開してまいります。そしてそのために必要な経営基盤の強化も同時に行ってまいります。

津山中央病院本館の竣工から20年が経過し、老朽化した設備の更新工事を順次行っております。昨年は周産期センターが竣工し、次いで3階病棟の改修工事を開始しました。一連の更新工事は、令和7年度の竣工を目標にしております。また許可病床数は現在の医療ニーズに合わせてダウンサイジングする予定で、工事の進捗に合わせ456床までに減床します（現在515床）。記念病院の増築工事を昨年から開始し、今年度竣工を目指しています。また引き続き本館の改修工事を来年度に実施する予定にしております。老朽化したクリニックの機能継承と記念病院の機能拡充が目的です。

今年度は中期3ヵ年計画の2年目として、事業を展開していくことになります。より具体的な令和6年度の事業計画は以下の通りです。

中 長 期 ビ ジ ャ ャ



日本に誇れる医療サービス空間の構築

今 年 度 重 点 目 標

テーマ		計画年度					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8
I	新入院獲得（紹介患者を中心に）						
II	新入院獲得（救急患者を中心に）						
III	レセプト対策（査定・請求漏れを防ぐ）						
IV	B C Pの整備						
V	魅力ある職場づくり						
VI	看護部へのサポート体制の構築						
VII	D Xと業務改善（デジタルトランスフォーメーション）						
VIII	新体制下のグループ病院との連携強化						
※等	A水準実現のために						
	救命救急センターの整備に向けて						
	5類移行に伴う病院の対応						
	適正な入院期間を目指して～転院促進・入院期間Ⅱ～						
	グループ病院との連携強化						

令和6度 各事業所の事業計画（概要）

1 津山中央病院	○「お断りしない救急」「高度医療の提供」のための機能充実	
	・救命救急センターの整備 ※スタッフ確保、ER Day 拡充、Dr. カー拡充、受入病床の確保など	
	・ゲノム連携病院の機能充実、がん拠点病院の要件クリアの継続など	
	○がん陽子線治療センターの機能拡充	・保険適用領域（前立腺がん等）および先進医療の領域について症例数増加 ※1 保険収載：小児がん、前立腺がん、頭頸部悪性腫瘍、骨軟部腫瘍、肝細胞癌、肝内胆管癌、局所進行肺癌、大腸癌術後局所再発 ※2 2024年 新規保険収載：早期肺癌
	○手術室の効率的な運用	・令和元年に竣工した4つのOP室および2つの血管造影室の効率的な運用 ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および症例の適用拡大 ・ハイブリッドOR（経カテーテル的大動脈弁植え込み術）の運用安定と症例数拡大
	○病棟の安定稼働	・集中治療室の増床の検討、許可病床数のダウンサイジング ・緩和ケア病棟14床の安定稼働 ・一部病床の運用制限をした状態での安定した患者受入（看護師不足） ・DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合の向上（全体で70%を目指す）と転院促進 ・新型コロナウイルス感染症対策（入院患者受入れ体制、院内感染防止体制、PCRなど検査体制、マスクなどの防護具確保など診療体制の維持）
○地域連携の推進（連携登録医、介護・在宅、津山中央病院グループ施設との連携）		
2 津山中央記念病院	○働き方改革および働きやすい環境づくり	・「職員から選ばれる病院」づくり ・医師の長時間労働対策など働き方改革の推進（A水準の実現） ・看護業務のタスクシフト、タスクシェアの推進 ・業務の効率化の推進（DX※ICT・AI、業務改善）
	○診療報酬改定への対応	・賃上げについての評価、入院基本料の見直し（看護必要度）、DX・情報セキュリティの評価など
	○一般病棟の安定稼働	・施設基準10：1の維持 ・在宅などからの新規入院患者の獲得
	○地域包括ケア病床の拡充	・在宅からの入院強化 ・介護保険施設入所者の受け入れの推進
	○療養病棟の安定稼働	・看護師、アシスタントⅡの確保 ・安定稼働を目指しさらなる充実を図る
	○透析センターの充実	・看護師・MEを確保し慢性医療の充実を図る
3 津山中央クリニック	○新型コロナウイルス対策	・透析患者受入れ体制の維持、院内感染防止体制
	○津山中央病院、津山中央まにわ病院との連携強化およびそのための機能向上	
	○介護・在宅との連携強化	
	○働き方改革および働きやすい環境づくり	・医師の当直体制の見直し ・常勤医師の増員 ・看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・業務の効率化の推進
	○クリニックとの機能統合の準備	・増築工事と機能統合
	○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	
3 津山中央クリニック	○診療機能の充実	・外来患者の増
	○働き方改革および働きやすい環境づくり	・医師の長時間労働対策など働き方改革の推進 ・看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・業務の効率化の推進
	○新型コロナウイルス対策	・院内感染防止対策
	○記念病院との機能統合の準備	・増築工事と機能統合

訪問看護 ステーション	4 津山中央	○機能の充実	・スタッフの充実とスキルアップ ・医療対応のスキルの高さを生かし、医療的ケア児、ターミナルケア、難病、人工呼吸、在宅酸素、腹膜透析、人工肛門の対応件数を増加、看護体制強化加算を維持、機能強化型訪問看護ステーション加算算定を取得
		○働き方改革	・看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・業務の効率化の推進 ・ハラスメント撲滅を目指す
		○津山中央病院との連携強化	
		○地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	

居宅介護 支援事業所	5 津山中央	○利用者数の維持	・質の高いケアマネジメントの実践
		○働き方改革	・業務の効率化の推進 ・ハラスメント撲滅を目指す
		○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	
		○津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	

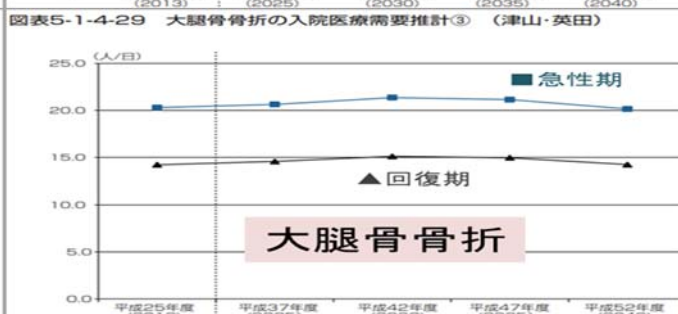
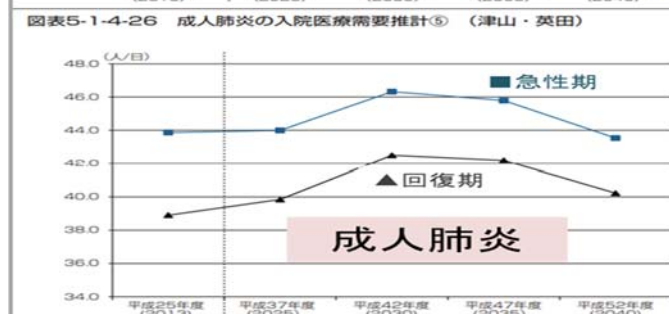
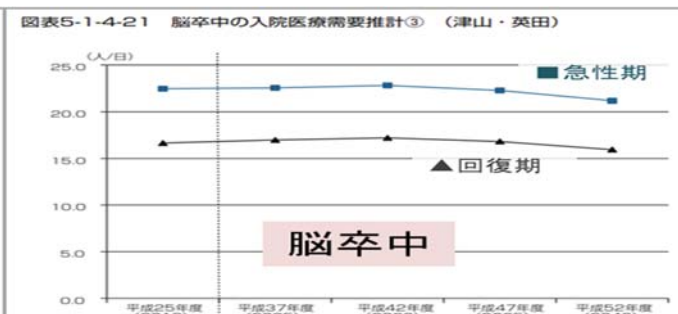
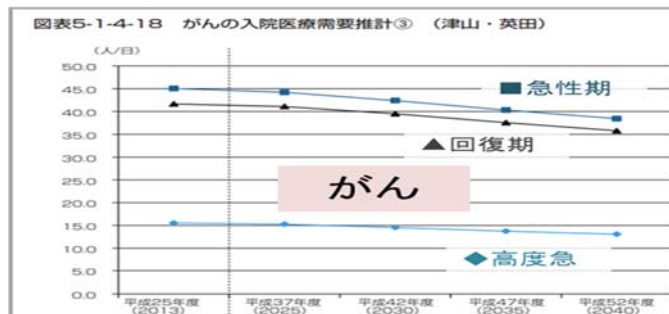
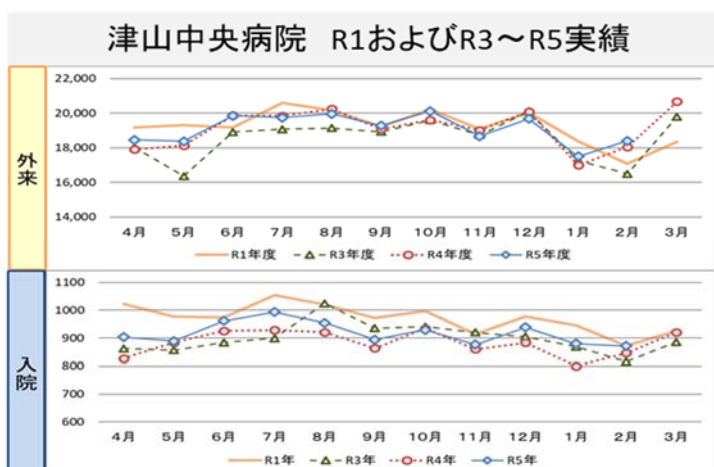
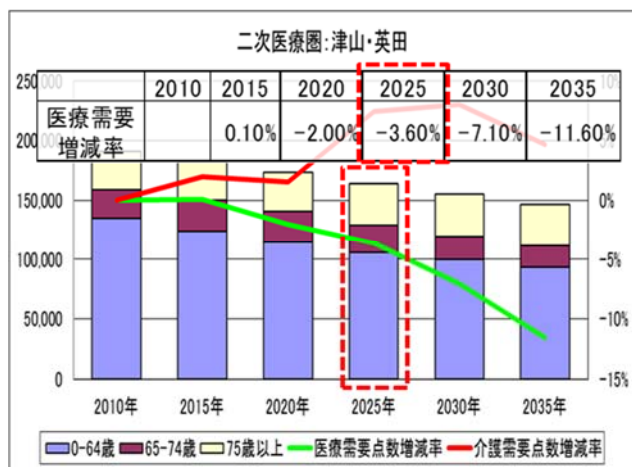
看護専門学校	6 津山中央	○地域医療の充実に貢献する優秀な看護師の育成	・臨床現場の先端機器に対応できる看護師の育成
		○優秀な志願者の確保	・地元高校生とその保護者へ本校の強み発信 ・中学生へ看護の魅力発信 ・社会人や高校教員への情報発信の強化
		○豊かな人間性を備え、主体的に行動できる学生の育成	
		○国家試験全員合格	
		○業務の見直しと効率化	・教職員の多忙化の軽減に取り組み、学生と向き合う時間を確保する ・例年通りではなく、新しいことへ挑戦する気持ちを持ち続ける

7 有料老人ホーム アーバンライフ二階町		○契約者の維持（アーバンライフ 29 名、ナイスデイ 18 名）及び平均介護度 2.8 の達成
		○利用者満足のために、地域ナンバーワンのサービス提供を目指す
8 小規模多機能施設 ナイスデイ二階町	○働き方改革	・業務の効率化のためオペレーションの見直しを図る ・ハラスメント撲滅を目指す
	○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	
	○津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	

カルヴァータ フィットネス&スパ	9	○会員数増とサービスの充実に努め、健康増進に寄与する	・会員数増、クラブ収益の向上 ・シニアサービスの拡充によるシニア会員獲得
		○働き方改革	・業務の効率化の推進 ・年次有休休暇の計画的利用促進
		○津山中央病院との連携強化 およびそのための機能向上	・医療連携型運動療法プログラムの立案、運用準備
		○新型コロナウイルス対策	・業種別対応マニュアルに加えて、病院の感染対策方針を遵守する

参考

【患者数、医療ニーズの分析】



【津山中央病院 再整備事業 POWER UP 5 (令和元年竣工)】



【津山中央病院グループ概要】

高度急性期



津山中央病院

がん陽子線治療センター



救命救急センター

人材育成



医療研修センター



看護専門学校

津山中央病院グループ



健康管理センター



フィットネス&スパ カルヴァータ

健診・健康増進

津山中央記念病院



訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所

津山中央まにわ病院



老人保健施設・訪問看護・居宅介護

急性期・地域包括ケア

アーバンライフ・ナイスデイ



回復期

介護・在宅

【数字で見る津山中央病院グループ】

数字で見る津山中央病院グループ 2023年度

一般財団法人 津山慈風会 ・設立 昭和28年10月 ・事業所数 9事業所 ・職員数 1,264人 R5.4.1時点 - 内 医師 135人 - 内 看護師 589人 - 内 薬剤師 30人	津山中央病院 ・病床数 515床 ・標榜診療科 30診療科 ・入院患者数 134,616人 ・外来患者数 229,020人 ・救急車数 5,160台 ・手術件数 4,684人 ・内視鏡件数 12,363件 ・地域医療支援病院 - 救命救急センター - 地域がん診療拠点病院 - 医師臨床研修指定病院 - D P C 特定病院群	津山中央健康管理センター ・受診者数 10,782人 フィットネス&スパ カルヴァータ ・契約者数 554人 ※R5年度末
津山中央記念病院 ・病床数 81床 ・標榜診療科 2診療科 ・入院患者数 20,765人/年 ・外来患者数 48,741人/年 ・透析患者数 22,235人/年	アーバンライフ二階町 ・居室数 29室 ※全室個室 ナイスデイ二階町 ・通い 3,204人 ・訪問 328人 ・宿泊 1,828人	津山中央看護専門学校 ・卒業者数 32人 ・国家試験合格率 90.6%
津山中央クリニック ・標榜診療科 3診療科 ・外来患者数 10,237人/年	津山中央訪問看護ステーション ・年間訪問数 3,887件 ・看護体制強化加算 ・機能強化型訪問看護ステーション加算	医療法人真庭慈風会 津山中央まにわ病院 ・病床数 55床 ・標榜診療科 14診療科 ・救急告示指定 ・併設 老健、訪問看護、居宅支援

中期経営計画および令和6年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会

目 次

中期経営計画の策定について

津山慈風会の理念

基本方針

基本方針に基づく中期経営計画骨子

令和6年度事業計画の策定について

津山慈風会は丸71年を迎え、津山中央病院が誕生し丸70年を迎えます。

平成27年度のがん陽子線治療センターを皮切りに、平成29年度に出来た新病棟（N館）、そして令和元年度に拡張工事が完了した手術センターなどを活用し、地域の皆さんに高度医療を提供できるよう努めます。新型コロナウイルスの影響は令和5年に5類感染症に変更されてからも少なからず続いておりますが、当財団は新しい令和の時代にふさわしい医療サービス空間をつくるため、ますます精進して参ります。

理 事 長

津山慈風会の経営理念

作 成：平成13年 8月14日
改 定：令和 6年 4月 1日（第3版）
直近見直：令和 6年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基 本 方 針

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の医療、保健、福祉を実践する
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める
3. 職員倫理や技術、安全に対する教育・研修を継続的に行う
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護・福祉事業を展開する
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する
7. 地域医療に貢献する人材を育成する ～職員に選ばれる病院作り～
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化及び業務の効率化を図る
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する

基本方針に基づく中期経営計画骨子（令和5～7年）

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の保健、医療、福祉を実践する
 - ①顧客の立場にたった医療、看護、介護を提供する 5～7年
 - ②顧客の権利とプライバシーを遵守する 5～7年
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める
 - ①ハイブリッド手術室 適用の拡大 5～7年
 - ②手術支援ロボット 前立腺がん手術の施設基準維持、その他の領域の適用拡大 5～7年
3. 教育・研修を継続的に行う
 - ①職員倫理に対する教育・研修を継続的に行う 5～7年
 - ②技術習得のための教育・研修を継続的に行う 5～7年
 - ③医療安全、感染対策、医療倫理に対する教育・研修を継続的に行う 5～7年
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する
 - ①地域のネットワークを構築する 5～7年
 - ②医療連携による地域完結のしくみを推進する 5～7年
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護事業を展開する
 - ①在宅介護事業を推進する 5～7年
 - ②介護事業の領域を拡大する 5～7年
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する
 - ①健診事業の充実を図る 5～7年
 - ②健康増進施設を充実させる 5～7年
7. 地域医療に貢献する人材を育成する ～職員に選ばれる病院作り～
 - ①看護教育・卒後研修を充実し、人材の地域定着を図る 5～7年
 - ②医師臨床研修を充実する 5～7年
 - ③地域医療従事者への教育環境を充実する 5～7年
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化を図る
 - ①地域基幹病院の機能を充実する 5～7年
 - ②各施設に求められる機能を充実する 5～7年
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る
 - ①法令遵守の監視体制を推進する 5～7年
 - ②働き方改革を推進する 5～7年
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する
 - ①急性期医療におけるコスト管理を強化する 5～7年
 - ②経営統計資料を整備し、分析・活用を図る 5～7年
 - ③医療インバウンドを推進する 5～7年
 - ④人材確保のための福利厚生、働きやすい環境を整備する 5～7年

中期経営計画および令和6年度事業計画

津 山 中 央 病 院

目 次

1. 津山中央病院の理念、基本方針、行動規範、患者の権利と責任
2. 基本方針の具体的内容
3. 基本方針に基づく中期経営計画（令和5～7年度）
4. 令和6年度事業計画

1. 津山中央病院の理念、基本方針、行動規範

作 成：平成13年 8月14日
改 定：令和 6年 4月 1日（第4版）
直近見直：令和 6年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

- お断りしない救急診療に努める
- 最先端の医療を提供する
- 地域医療機関との連携を強化する
- 地域に貢献する活動を推進する
- 教育、人材育成に傾注する
～職員に選ばれる病院作り～
- 持続可能で健全な経営に努める（SDGs）

行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

患者の権利と責任

当院では患者を尊重し、患者と当院の信頼関係を深めよりよい治療を行うために次に掲げる患者の権利と責任を宣言します。

患者の権利

- ① 人格を尊重した良質で最適な医療・看護を継続して平等に受ける権利
- ② 担当医師から診断・治療・予後について納得できるまで十分な説明を受ける権利
- ③ 担当医師から治療に入る前に、治療方針等について十分理解したうえで同意、或いは選択するのに必要な情報を得る権利
- ④ 必要な情報を得た上で、治療方針を自ら決める権利
- ⑤ 治療に関するすべてのコミュニケーション、記録等の個人情報およびプライバシー情報が極秘扱いされる権利
- ⑥ 医療費の請求内容を確認したり、内容についての説明を受ける権利
- ⑦ セカンドオピニオンが保障される権利
- ⑧ 定められた手順に従って、自己の診療記録の開示を受ける権利

患者の責任

1. 昔かかった病気、入院や内服薬を含めて自身の健康状態について情報を提供する責任
2. 治療を継続して受けることが出来ないと考えたときには担当医に告げる責任
3. 保険に関する情報を提供する責任
4. 医療費を速やかに支払う責任
5. 病院が決めた規則・ルールを守る義務

基本方針の具体的内容

1. お断りしない救急診療に努める

- ・ 救急受診重症患者あるいは地域医療機関よりの紹介患者に対して、迅速かつ適正な入院管理体制の構築に努める。
- ・ 救命救急センターの役割を全うする。
- ・ 救急医療は地域住民への安心の提供と、信頼される地域医療連携の基盤をなすものとする。

2. 最先端の医療を提供する

- ・ 常に医療の質向上に努力する。
- ・ 各分野ごとに最先端の医療を提供できるよう、人材の確保と育成に努める。
- ・ 医療実績は、国内はもとより海外にも積極的に情報を発信し、評価していただく。
- ・ 医療の質向上のために必要とする適正な投資を継続的に行い、職員の意欲向上にも寄与する。

3. 地域医療機関との連携を強化する

- ・ 地域連携の必要性・重要性を職員一同共有する。
- ・ 「自己完結型」医療から、「地域完結型」医療の中心的存在として貢献する。
- ・ 地域医療支援病院を中心とする津山慈風会グループとしての自覚を持ち、地域の医療、福祉関係者と密に連携をとる。
- ・ 岡山県北地域の医療の質向上と患者さんのQOL向上のため円滑な医療連携を図る。

4. 地域に対する啓発活動を推進する

- ・ 地域へ保健、医療、福祉についての啓発活動を行う
- ・ 津山慈風会の事業への理解を深めていただき、信頼と親近感を持てる病院をめざした、種々の活動に取り組む

5. 教育、人材育成に傾注する ～職員に選ばれる病院作り～

- ・ 「人は城、人は石垣、人は堀」を踏まえ、病院、地域を支えるのは慈風会職員そのものであるとの認識を共有する。
- ・ 職員のキャリアアップのための研鑽や教育を積極的に行う。
- ・ 女性医師支援、子育て職員支援に積極的に取り組む。
- ・ 地域に貢献する看護師育成のため、津山中央看護専門学校の実施を図る。

6. 持続可能で健全な経営に努める（SDGs）

- ・ 営利を目的とするものではない。
- ・ 患者、地域あるいは職員育成のために 必要な投資を行うと同時に、健全な経営に努める。

基本方針を達成するために

- ・ 職員全員が参加する、発言する風土を作る。
当然、発言には責任を持つ。（参加する委員会、ワーキンググループなどでは必ず発言する）
- ・ 管理職は、よい慣習はよりよくし、悪い慣習は打破する勇気を持ち、臭いものにふたをしない努力を続ける。そして、その情報は管理職間で共有する。（「三人よれば文殊の知恵」）
- ・ 何か気づいたこと、こうすればよくなるぞという提案を歓迎する。
この提案は、もちろん具体的解決策を持たなければいけない。
（「津山慈風会伝書鳩」と名付ける。「林」宛て、優秀な提案は忘年会で表彰）

2. 基本方針に基づく中期経営計画（5～7 年度）

事業		行動計画
I お断りしない救急	救命救急センター	- 重症患者、紹介患者の迅速かつ適正な入院管理体制の充実 ※JOPD 入力体制（<u>SICU R5-6 目標</u>、ICU 検討） - ER 構想の進捗 - ER Day の拡充 - 救急外来でのタスクシェア（救急救命士、事務、コメディカル） - ドクターカー運用の拡充 - 集中治療ユニットの増床の検討（HCU 4床 or SICU 2床 or 一般病床） - スタッフ確保（救急医確保、看護師、認定看護師、救命士など） - 応需率の改善（80%台から 90%台に）
	小児救急拠点病院	小児救急外来の体制維持
	周産期母子医療センター	- NICU 機能の充実（体制整備と改築工事 <u>竣工 R5.5→R5.7 運用開始</u>） - 助産師外来の体制充実
	※災害拠点	※IV 地域貢献に記載
	※外来機能・病棟機能の充実	※II 最先端医療に記載
	がん拠点病院	- がん拠点病院としての体制を整える（手術、化学療法、放射線治療、がん登録、緩和ケア） - ゲノム連携病院 - 指定 <u>(R5.9 指定)</u> - 機能充実 標榜※R6.1 済、相談窓口※R6.1 済、カンセラー配置 ※R5.11、ISO15189 認証取得 (R7.3 予定) カウンセラー加算 - がん登録の精度向上
	放射線治療センター	- 陽子線治療 - 保険適用疾患および先進医療の適用疾患の症例数増加 - 医学物理士の採用 <u>(R5.4 採用、4～8 月研修、9 月業務開始)</u> - 医療インバウンドの症例数増加 - JIH の指定の維持 <u>(R5.9 指定更新)</u> - 定位照射 - IMRT (X線) 治療の適用症例の拡大
II 最先端医療	手術センター	- 令和元年度に竣工した4つのOP室についての効率的な運用 - ハイブリッドORの安定した運用および適用拡大（TAVI 専門施設取得※R6.1） - 手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および適用拡大 - 外来手術推進（白内障、ポリペク、慢性硬膜下血腫、抜釘等）
	血管治療（心臓血管 CN・脳卒中 CN）	- 令和元年度に竣工した血管造影室（2部屋）についての効率的な運用 - 新規に導入した手技の安定した運用（インペラ、FFRct、NOガス） - 新規手技の導入（Mics 手術 <u>R5.9 開始</u>）
	リハビリテーション CN	- 実施件数の増加 365 日リハ検討
	地域完結	- DPC 特定病院群の維持 - 県南に流出している疾患の実績増加
	外来機能の充実	- 専門外来の充実 - 常勤医師の確保（眼科、乳腺外科、皮膚科専門医など） - 緩和ケア外来の開設 <u>※R5.6 達成</u> ※連携登録医、グループ施設の連携促進→※III 地域連携に記載
	病棟機能の充実	- DPC 入院期間 II 以内の退院割合の向上（70%を目指す） - 記念病院との連携（へパリン化入院、整形外科など） - RRS の安定した運用 - 感染制御の体制維持（医療スタッフの手技、PE 確保、5 類移行対応 <u>※R5.5 達成</u>） - 緩和ケア病棟 14 床の開設 <u>※R5.5 達成</u> → <u>安定稼働</u> - 許可病床のダウンサイジングの検討 - 計画決定 <u>(R7 年度に 515 床→456 床)</u> <u>R5.11 改修工事開始 → R8.3 竣工</u> ※看護師の増員・育成 → ※V 人材育成に記載
	チーム医療	- 各チームの活動件数増加 - 各チームの体制充実 ※NST、認知症ケア、緩和ケア、入退院支援、ICT・AST、輸血 cn、助産師外来、PST、栄養指導、口腔ケア、メディエーター、<u>心臓リハチーム→心リハ・心不全ケアチーム (R6.1)、精神科増員</u> - 特定行為看護師 - 認知症※R4 年 1 名取得 → 手順書作製・運用開始 - 周術期の資格取得 - タスクシェア - 看護業務のタスクシェアを全職種で拡充する（採血 対応できる検査技師の拡充など）

	事業	行動計画	
Ⅲ 地域 連携	地域医療支援病院	・連携登録医、グループ施設の連携促進 ・地域連携クリパス稼働件数増加（脳卒中、がん、大腿骨頸部骨折） ・地連バス会議、CCセミナーの開催（Webの活用）	5～7年度 5～7年度
	※地域完結	※Ⅰ最先端医療に記載	5～7年度
	災害拠点	・体制整備と訓練実施 ・DMAT派遣体制の確保（R6.1能登震災支援として物資提供を実施）	5～7年度 5～7年度
Ⅳ 地域 貢献	へき地拠点	・へき地拠点病院、診療所への医師派遣および代診医派遣	5～7年度
	感染症	・第二種感染症指定病院（新型インフル・結核）としての患者受入れ ・新型コロナ対策 ・県北の重点医療機関としての役割（重症患者受入、5類対応） ・ワクチン接種の実施、流通の基本型病院、副反応対応	5～7年度 5年度達成 5年度達成
	健診事業	・地域の拠点としての体制確保（感染対策向上加算1など） ・受入れ実績の増加 ・オプション検査、プレミアムドッグの件数増加	5～7年度 5～7年度 5～7年度
	医療インバウンド	・体制の再整備（診察医確保、土曜日中止し月～金に集約） ・陽子線治療実績の増加 ・陽子線以外の治療実績の増加（乾癬、糖尿病など） ・スーパードッグの件数増加	6年度 5～7年度 5～7年度 5～7年度
	第二種社会福祉事業	・減免、無料相談等	5～7年度
	職員確保 「職員に選ばれる病院」	・医師 内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ER、精神科など ・研修医 マッチング10割※R5 ・看護師増員・離職率5% ・看護師負担軽減、プロジェクト ・入職支度金の見直し ※病床拡充、看護師夜間配置加算の維持	5～7年度 5～7年度 5～7年度
	※看護学校との連携協力	※看護学校に記載	5～7年度
Ⅴ 人材 育成	研修	・研修会（医療安全、感染対策、医療倫理、個人情報、ハラスメント対策など）の実施 ・実習受入れ（医師、看護師、コメディカル） ・インターンシップ、見学受入れ（小学生、中学生、大学生、社会人、各種団体） ・医療マネジメント学会 岡山県支部総会 開催（R6年度幹事病院）	5～7年度 5～7年度 5～7年度 6年度
	働き方改革	・長時間労働対策 ・医師 ・A水準を目指す ・手術処置夜間休日加算の適応拡大（現在は脳外、外科） ・看護師 前残業削減、配茶の検討 ・業務改善プロジェクト（前3カ年でコメディカル終了、残りは法人本部） ・ICT・AI ・DX技術の活用（R5.4LINE Works導入） ・AI問診の拡張（R5.6職員受診で使用徹底） ・職員満足の向上 ・有給の時間単位取得の検討	5～7年度 5～7年度 5～7年度 5～7年度 5年度達成 5～6年度 5～7年度 5～7年度
	診療報酬対策	・施設基準 ・重要な基準の維持・新規取得・ランクUp ・R6年度診療報酬改定への対応（看護必要度、処遇改善など） ・DPC係数の向上 ・DPC 特定病院群の継続 ・標準病名登録の精度向上、体制の再整備	5～7年度 5～7年度 5年度達成 5～7年度
	コスト削減	・GE、バイオシミラー採用の検討 ・医薬品、医材のコスト削減の取り組み（薬事委員会、医材委員会、VHJ共同購入） ・物価高騰（食材、光熱費等）への対策 ・節約 ・支援金獲得※R5達成→診療報酬	5～7年度 5～7年度 5～7年度 5～7年度
	新規入院患者獲得	・人口減少、高齢化による地域の疾病構成の変化への対応 ・新型コロナウイルスによる疾病構成の変化への対応（After コロナ） ※適正な病床数の検討 → Ⅰお断りしない救急、Ⅱ最先端医療に記載	5～7年度 5～7年度
	計画的な インフラ整備	・周産期センター改修工事 ・3階～6階病棟改修工事（R6.1.3西完了） ・跡地利用の検討（旧病理検査室、旧腹部エコー室、旧中央材料室など） ・医療機器 ・R5 ESML、X-TV、コ-2台、透析装置（記念）、白内障手術、器具洗浄器、FPD ・R6 MRI更新 ・システム更新 ・eカルテ 3-5年度 R5.10完了 ・サイバーテロ対策、PHR対応、DX	5年度達成 5～7年度 5～7年度 5～7年度 5～7年度
Ⅵ 健全な 経営			

3. 令和6年度事業計画

1. 年度目標

		目標	実績			
		令和6年度	令和5年度 ※2月時点	令和4年度	令和3年度	令和2年度
(1)	外来患者数	850人/日	※876.3人/日	878.4人/日	858.1人/日	785.8人/日
(2)	新規入院患者数 ※全病棟	11,000人	※917.3人/月	10,593人	10,798人	10,002人
(3)	手術件数（手術センター）	4,800件	※4,308件/11ヶ月 対前年 101.8%	4,704件	4,761件	4,027件
(4)	内視鏡件数（内視鏡c.n）	12,700件	※11,517件/11ヶ月 対前年 103.0%	12,256件	11,463件	10,177件
(5)	血管カテーテル治療・検査	1,500件	※1,327件/11ヶ月 対前年 90.5%	1,633件	1,475件	1,373件
(6)	放射線治療	170人	142人/11ヶ月	199人	172人	144人
(7)	陽子線治療	120人	※95人/11ヶ月 対前年 131.9%	84人	78人	88人
(8)	救急車受入れ台数	5,200件	※4,774台/11ヶ月 対前年 101.7%	5,075台	5,103台	4,867台
(9)	紹介割合（※令和4年度 計算式改定）	80%	※77.0%	76.8%	85.0%	84.8%
(10)	逆紹介割合（※令和4年度 計算式改定）	30%	※46.4%	46.9%	92.1%	98.1%
(11)	平均在院日数 ※N4 東、N3 西除く	11.30日	※11.35日	11.80日	11.61日	12.18日
(12)	事業収益	17,251 百万円	16,923 百万円	16,171 百万円	15,434 百万円	13,909 百万円
(13)	人員の 確保、充実	・医師 ・看護師	・内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ERなど ・看護師 50 人補充 ※4 月 44 人見込み ・医療アシスタント数名補充 ※急性期看護補助加算の維持			
(14)	教育 研修	・医療安全	10 回	23 回	17 回	17 回
		・感染対策・AST	10 回	11 回	16 回	16 回
		・医療倫理	1 回	7 回	1 回	1 回
		・個人情報保護	1 回	1 回	1 回	
		・ハラスメント対策	1 回	4 回	6 回	6 回

2. 事業および行動計画

I お断りしない救急

事業	行動計画
救命救急センター	・重症患者、紹介患者の迅速かつ適正な入院管理体制の維持 ・救急車受入件数維持 ・JOPD 入力体制の整備 ・ER構想の進捗 ・ER Day の拡充 ・救急外来でのタスクシェア（救急救命士、事務、コメディカル） ・救急医確保 ・スタッフの確保 ・ドクターカー運用の拡充 ・Dr. カーの出動件数維持 ・集中治療ユニットの増床の検討（HCU 4床 or SICU 2床 or 一般病床） ・SICUもしくはHCUの増床 ・救急外来の体制整備（救急救命士、事務、コメディカルとのタスクシェア） ・人材確保
小児救急拠点病院	・小児救急外来の体制維持 ・当直体制の維持（医師、看護師、コメディカル、事務）
周産期母子医療センター	・NICU機能の充実（体制整備） ・人材確保と病床数維持
-	・周産期外来の体制充実 ・運用の安定

Ⅱ 最先端医療

事業	行動計画
がん拠点病院	・がん拠点病院としての体制を整える（手術、化学療法、放射線治療、がん登録、緩和ケア） ・ゲノム医療連携病院の機能充実 ・カウンセラー加算 ・ISO15189 ・がん登録の精度向上
放射線治療センター	- 陽子線治療 ・保険適用疾患および先進医療の適用疾患の症例数増加 ・医療インバウンドの症例数増加 ・JH の指定の維持 - 定位照射 ・IMRT（X線）治療の適用症例の拡大
手術センター	・令和元年度に竣工した4つのOP室についての効率的な運用 ・ハイブリッドORの安定した運用および適用拡大（TAVI 専門施設取得※R6.1） ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および適用拡大 ・外来手術推進（白内障、ポリペク、慢性硬膜下血腫、抜釘等）
血管治療（心臓血管 CN・脳卒中 CN）	・令和元年度に竣工した血管造影室（2部屋）についての効率的な運用 ・新規に導入した手技の安定した運用（インペラ、FFRct、NOガス）
リハビリテーションセンター	・実施件数の増加 ・365 日リハ検討
地域完結	・DPC 特定病院群の維持 ・県南に流出している疾患の実績増加
外来機能の充実	・専門外来の充実 ・常勤医師の確保（眼科、乳腺外科など）
病棟機能の充実	・DPC 入院期間Ⅱ 以内の退院割合の向上（70%を目指す） ・記念病院との連携（ヘパリン化入院、整形外科など） ・RRS の安定した運用 ・感染制御の体制維持（医療スタッフの手技、PPE 確保、5 類移行への対応） ・緩和ケア病棟 14 床の安定稼働 ・許可病床のダウンサイジングに向けた改修工事の実施
チーム医療	・各チームの活動件数増加 ・各チームの体制充実 ※NST、認知症ケア、緩和ケア、入退院支援、ICT・AST、輸血cn、助産師外来、PST、栄養指導、口腔ケア、メディエーター、心臓リハチーム→心リハ・心不全ケアチーム（R6.1）、精神科増員 ・特定行為看護師 ・認知症（昨年 1 名取得） 手順書作製・運用開始 ・周術期の資格取得 ・タスクシェア ・看護業務のタスクシェアを全職種で拡充する（採血 対応できる検査技師の拡充など）

Ⅲ 地域連携

事業	行動計画
地域医療支援病院	・連携登録医、グループ施設の連携促進 ・地域連携クリパス稼働件数増加（脳卒中、がん、大腿骨頸部骨折） ・地連パス会議、CC セミナーの開催（Web の活用）

IV地域貢献

事業	行動計画
災害拠点	・体制整備と訓練実施 ・訓練実施（受け入れ、院内災害） ・DMA T派遣体制の確保 ・DMA Tの派遣
へき地拠点	・へき地拠点病院、診療所への医師派遣および代診医派遣 ・医師派遣 ・代診医派遣
感染症	・第二種感染症指定病院（新型インフル・結核）としての患者受入れ ・患者受入 ・新型コロナウイルス 岡山県北の重点医療機関としての役割（重症患者受入） ・診療体制の維持 ・入院体制の維持 ・検査体制の維持 ・防護具の確保 ・ワクチン接種の実施、流通の基本型病院、副反応対応 ・接種の実施 ・地域の拠点としての体制確保（感染対策向上加算1など） ・施設基準の維持
健診事業	・受入れ実績の増加 ・件数増加 ・オプション検査、プレミアムドッグの件数増加 ・件数増加 ・体制整備 ・診察医確保 ・土曜日中止し月～金に集約 ・診察医確保 ・体制整備、4月実施
医療インバウンド	・陽子線治療実績の増加 ・受入実施 ・陽子線以外の治療実績の増加（乾癬、糖尿病など） ・受入実施 ・スーパードッグの件数増加 ・受入実施
第二種社会福祉事業	・減免、無料相談等 ・減免割合10%以上

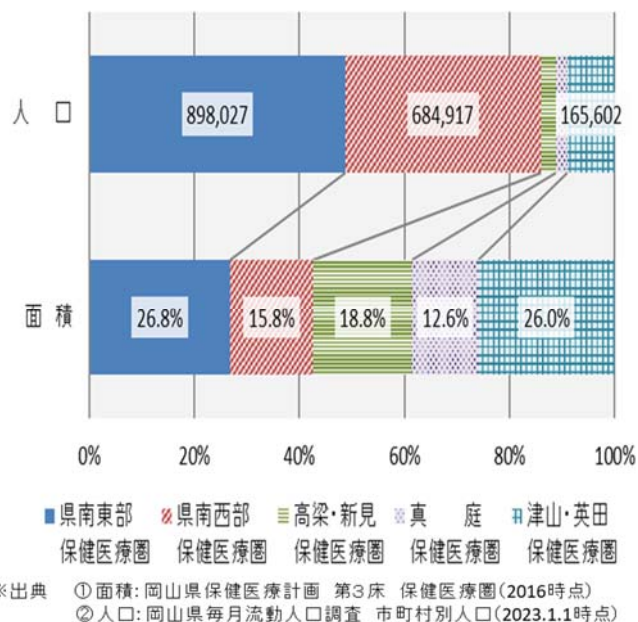
V人材育成

事業	行動計画
職員確保 「職員に選ばれる病院」	・医師 内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ER、精神科など ・採用の検討 ・研修医 マッチング10割 ・採用の検討 ・看護師増員 ※病床拡充、看護師夜間配置加算の維持、看護師負担軽減 ・採用の検討 ・医療アシスタント増員 ※急性期看護補助加算の維持 ・採用の検討
研修	・研修会（医療安全、感染対策、医療倫理、個人情報、ハラスメント対策など）の実施 ・研修会開催 ・実習受入れ（医師、看護師、コメディカル） ・受入実施 ・インターンシップ、見学受入れ（小学生、中学生、大学生、社会人、各種団体） ・受入実施
働き方改革	・長時間労働 医師 A水準を目指す ・対応検討 ・対策 ・手術処置夜間休日加算の適応拡大（現在は脳外、外科） ・看護師 前残業削減、配茶の検討 ・対応検討 ・業務改善プロジェクト（前3カ年でコメディカル終了、残りは法人本部） ・対応検討 ・ICT・AIの活用 ・DX技術の活用 ・対応検討 ・AI問診の拡張 ・対応検討 ・職員満足の向上 ・向上

VI健全な経営

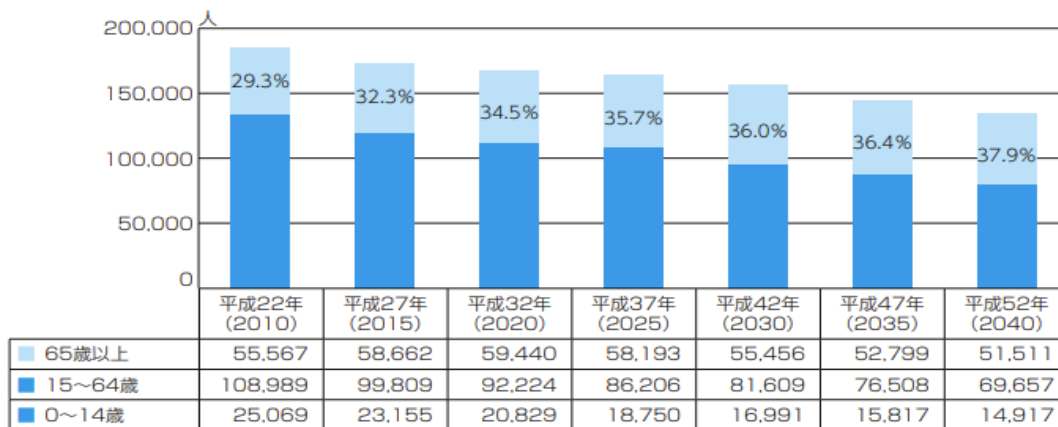
事業	行動計画
診療報酬対策	・施設基準 重要な基準の維持・新規取得・ランクUp ・施設基準（新規・ランクUp） ・DPC 係数の向上 ・係数の向上 ・DPC 特定病院群の継続 ・指定継続 ・標準病名登録の精度向上、体制の再整備 ・対応検討
コスト削減	・GE、バイオシミラー採用の検討 ・施設基準ランクUp ・医薬品、医材のコスト削減の取り組み（薬事委員会、医材委員会、VHJ共同購入） ・削減の検討 ・人件費増加、物価高騰（食材、光熱費等）への対策（節約、補助金・支援金獲得） ・対応検討
新規入院患者獲得	・人口減少、高齢化による地域の疾病構成の変化への対応 ・対策立案 ・新型コロナウイルスによる疾病構成の変化への対応（After コロナ） ・対策立案 ・適正な病床数の検討 ・対策立案
計画的な インフラ整備	・3階～6階病棟改修工事 ・対策立案 ・跡地利用の検討（旧病理検査室、旧腹部エコー室、旧中央材料室など） ・対策立案 ・システム更新 eカルテ 3-5年度、サイバーテロ対策、PHR 対応、DX ・対策立案

参考資料1 岡山県の人口分布（2022 年）



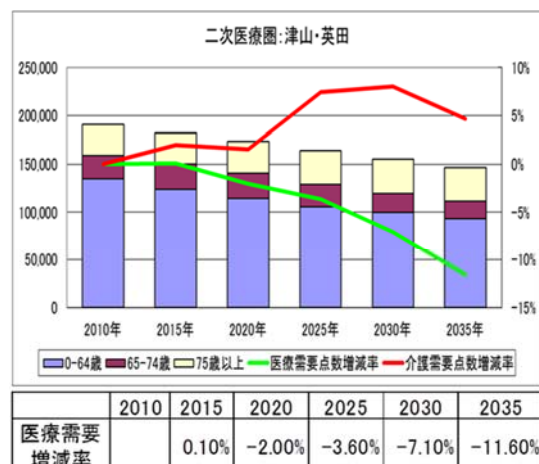
参考資料2 津山・英田医療圏の将来人口推計

図表11-5-2-2 津山・英田圏域の将来人口の推計

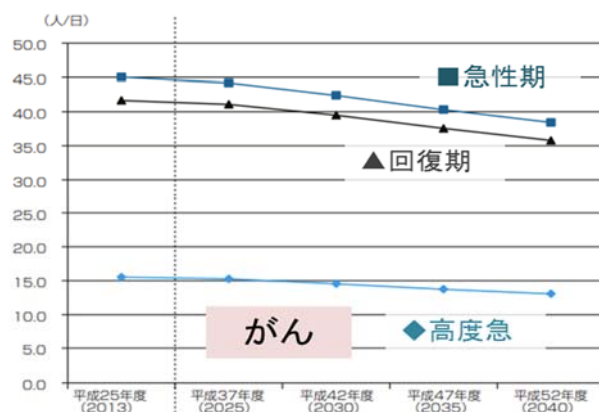


(資料：総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来人口推計」(平成25(2013)年3月推計))

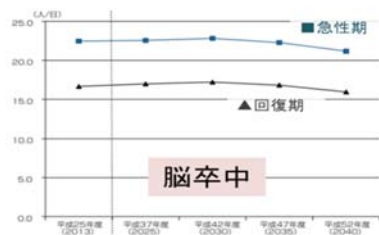
参考資料3 津山・英田医療圏の医療需要推計



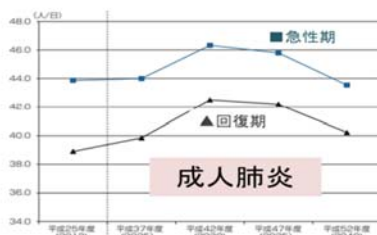
図表5-1-4-18 がんの入院医療需要推計③ (津山・英田)



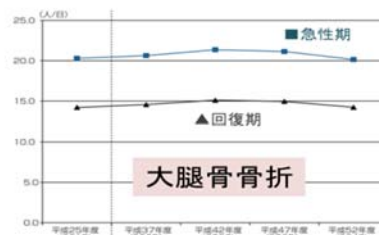
図表5-1-4-21 脳卒中の入院医療需要推計③（津山・英田）



図表5-1-4-26 成人肺炎の入院医療需要推計③（津山・英田）



図表5-1-4-29 大腿骨骨折の入院医療需要推計③（津山・英田）



参考資料4 津山・英田医療圏の医療需要推計（疾患別）

疾患分類	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
感染症及び寄生虫症	100%	101.21%	100.07%	103.22%	102.20%	98.81%	92.99%
新生物	100%	100.55%	98.45%	96.63%	93.82%	90.02%	85.52%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	100%	98.41%	96.00%	97.99%	96.46%	92.83%	86.88%
内分泌、栄養及び代謝疾患	100%	101.04%	99.83%	99.93%	97.18%	93.14%	88.36%
精神及び行動の障害	100%	97.83%	94.59%	90.60%	87.01%	82.88%	78.31%
神経系の疾患	100%	99.17%	97.04%	98.11%	95.99%	92.13%	86.39%
眼及び付属器の疾患	100%	101.36%	99.95%	100.49%	98.65%	95.08%	90.09%
耳及び乳様突起の疾患	100%	97.18%	95.62%	97.42%	94.93%	90.51%	84.42%
循環器系の疾患	100%	101.13%	100.02%	103.30%	102.42%	99.08%	93.15%
呼吸器系の疾患	100%	100.85%	99.60%	103.76%	103.22%	99.97%	93.74%
消化器系の疾患	100%	100.03%	97.91%	98.50%	96.66%	93.11%	87.74%
皮膚及び皮下組織の疾患	100%	100.87%	99.64%	103.24%	102.31%	98.91%	92.93%
筋骨格系及び結合組織の疾患	100%	100.93%	99.54%	101.24%	99.51%	95.91%	90.51%
腎尿路生殖器系の疾患	100%	100.64%	99.28%	100.94%	99.13%	95.44%	90.02%
妊娠、分娩及び産後	100%	88.84%	81.47%	77.55%	74.23%	69.62%	64.15%
周産期に発生した病態	100%	91.32%	80.67%	73.21%	68.78%	65.08%	60.93%
先天奇形、変形及び染色体異常	100%	93.00%	85.36%	78.94%	74.02%	69.62%	64.66%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	100%	100.34%	98.83%	101.16%	99.91%	96.42%	90.55%
総数	100%	99.94%	98.00%	98.80%	96.92%	93.27%	87.83%

増減

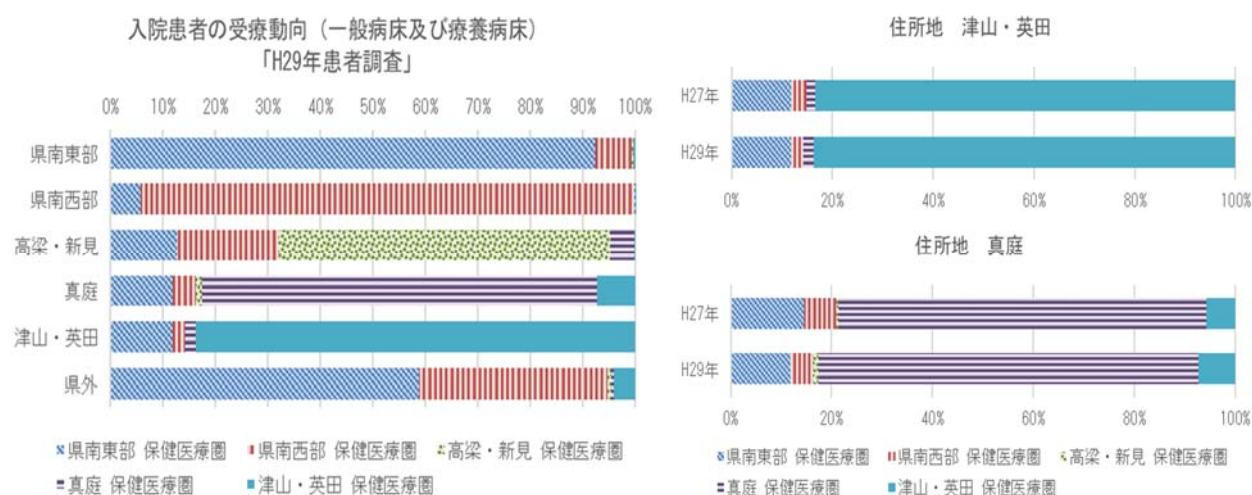
100%↑

95%↓

90%↓

80%↓

参考資料5 津山・英田医療圏の患者流出入（2017年・2019年）※岡山県医療計画より



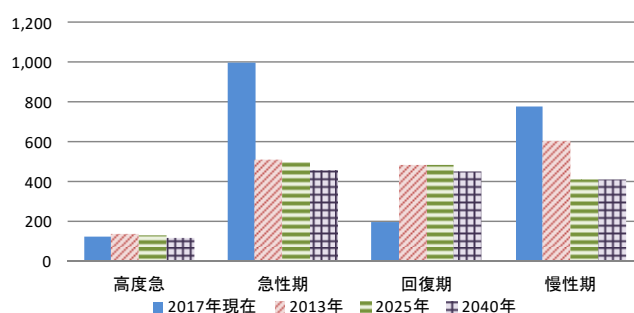
参考資料6 消防車

	R 5	R 4	R 3	R 2
津山圏域消防組合 出動件数	8,319	8,102	7,753	7,093
津山中央病院 受入件数	5,026	5,187	5,137	4,867

参考資料7 地域医療構想

構想区域別許可病床数の現況と必要病床数推計の比較

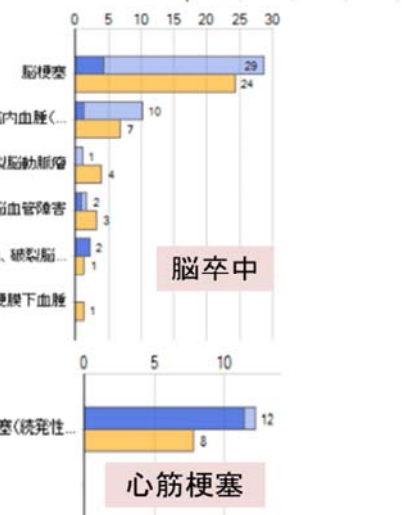
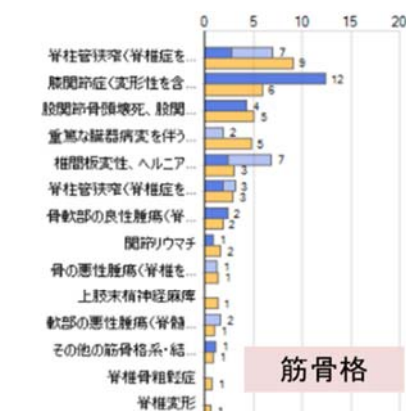
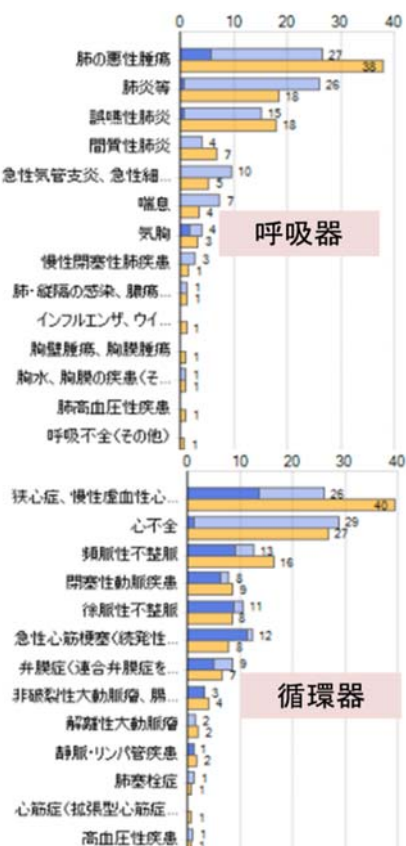
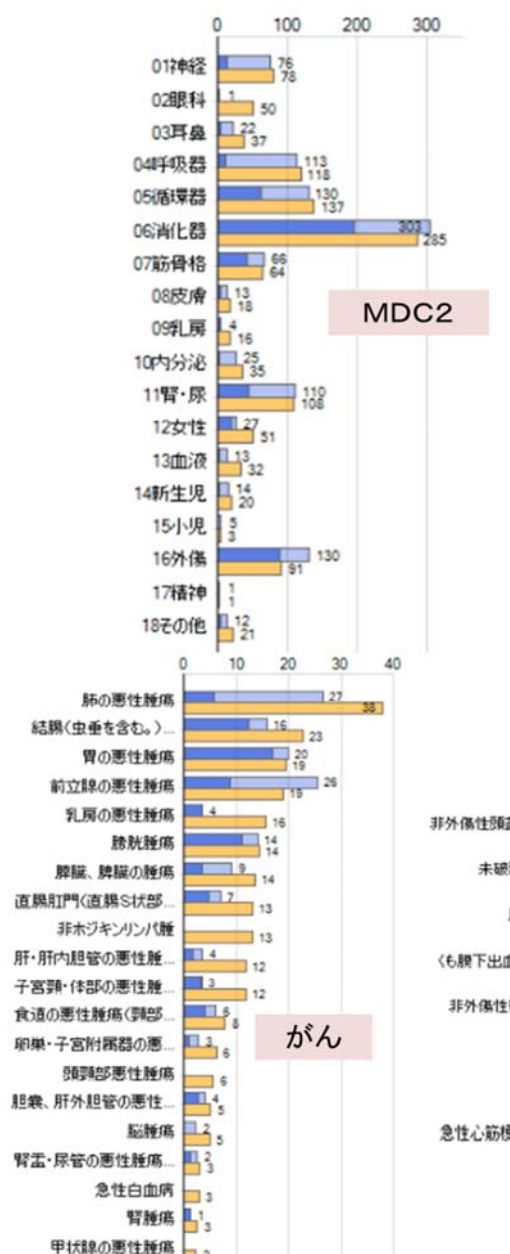
津山・英田	2017年現在			必要数		
	病院	診療所	合計	2013年	2025年	2040年
高度急	125	0	125	137	132	118
急性期	877	119	996	514	501	460
回復期	187	11	198	487	483	452
慢性期	682	99	781	605	414	411
休棟・無回答		63	63			
	1,871	292	2,163	1,743	1,530	1,441



参考資料8 推計患者数 (2021 年)

津山中央病院から半径20km圏内

人口 170,804 人
推計患者数 1,183 人
退院患者数 1,032 人
手術あり退院数 手術なし退院数 推計患者数 (月平均)



参考資料 9-1 令和 6 年度の診療報酬改定（1 2 月 2 0 日 厚生労働省）

・ 全体 ▲ 0.12%	・ 診療報酬本体 + 0.88%	※1 2～4 を除く改定分 +0.46% ※2 看護職員、病院薬剤師等のペア（R6 2.5%、R7 2.0%） +0.61% ※4 入院時の食費基準額の引き上げ +0.06% ※5 生活習慣病を中心とした管理料、処方箋料等の再編 ▲0.25%
・ 薬価 ▲ 0.97%		・ 材料価格 ▲ 0.02%

参考資料 9-2 令和 6 年度診療報酬改定の基本方針（概要）

改定に当たっての基本認識
▶物価高騰・賃金上昇、経営の状況、人材確保の必要性、患者負担・保険料負担の影響を踏まえた対応 ▶全世代型社会保障の実現や、医療・介護・障害福祉サービスの連携強化、新興感染症等への対応など医療を取巻く課題への対応 ▶医療 DX やイノベーションの推進等による質の高い医療の実現 ▶社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和

改定の基本的視点と具体的方向性	主な改定項目
(1) 現下の雇用情勢も踏まえた人材確保・働き方改革等の推進 【重点課題】 ○医療従事者の人材確保や賃上げに向けた取組 ○各職種の高い専門性を発揮するため力・スキル・ノウハウ、チーム医療 ○業務の効率化に資する ICT の利活用の推進、その他長時間労働などの厳しい勤務環境の改善 ○地域医療の確保及び機能分化を図る観点から、労働時間短縮の実効性担保に向けた見直しを含め、必要な救急医療体制等の確保 ○多様な働き方を踏まえた評価の拡充 ○医療人材及び医療資源の偏在への対応 (2) ポスト 2025 を見据えた地域包括ケアシステムの深化・推進や医療 DXを含めた医療機能の分化・強化、連携の推進 (3) 安心・安全で質の高い医療の推進 (4) 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上	【賃上げ・基本料等の引き上げ】 ・ベースアップ評価料（外来・在宅・歯科・入院） 新 ・基本料の引き上げ 初再診料、入院基本料 ・入院料通則 栄養管理・ACP・身体的拘束 【医療 DX の推進】 ・医療 DX 推進体制整備加算 新 8 点 ・診療録管理体制加算 点数 Up・厳格化 ・脳血栓回収療法連携加算 新 5,000 点 【ポストコロナにおける感染症対策】 ・感染対策向上加算 要件見直し 【外来診療の機能分化・強化等】 ・入退院支援加算 点数 Up・要件見直し ・外来腫瘍化学療法診療料 点数 Up・見直し 【医療機能に応じた入院医療の評価】 ・急性期一般入院料 1 施設基準の見直し ・リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算 新 ・特定集中治療室管理料 点数 Up・厳格化（医安加 1） ・急性期充実体制加算 厳格化 ・DPC 医療機関別係数、基礎係数の見直し ・地域医療体制確保加算 厳格化 ・処置及び手術の休日加算 厳格化 ・医師事務作業補助体制加算 点数 Up ・看護補助体制加算 新 【重点的分野】 ・救急患者連携搬送料 新 ・救急医療管理加算 厳格化 ・小児入院医療管理料 緩和 ・外来腫瘍化学療法診療料 点数 Up・細分化 ・認知症ケア加算 点数 Up・厳格化 ・遺伝学的検査 対象疾患拡大 【その他】 ・バイオ後続品導入初期加算 新 ・栄養情報連携 新 ・再製造単回使用医療機器使用加算 新 ・アミロイド PET 新 ・陽子線治療 適応拡大

参考資料 9-3 第 8 次医療計画【2024 年～2029 年】のトピックス

- 『5 疾病 5 事業』から『5 疾病 6 事業』へ ※『**新興感染症**等の感染拡大時における医療』が追加
- 外来機能分化 ※『**かかりつけ医機能を担う医療機関**』と『**紹介受診重点医療機関**』

参考資料 10 津山中央病院 職員数推移

	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4
医師	96	100	97	104	114	107	108
歯科医師	2	2	2	2	1	2	2
研修医	22	21	18	14	18	18	15
看護師	487	468	460	468	476	486	473
助産師	12	12	15	14	15	16	15
保健師	13	16	16	17	16	14	12
准看護師	12	9	9	7	5	3	6
介護福祉士	7	9	9	11	13	13	13
医療アシスタントⅡ	63	59	65	57	56	53	54
救急救命士	-	-	-	3	6	8	8
薬剤師	27	27	27	26	27	28	29
臨床検査技師	27	27	29	29	30	32	34
診療放射線技師	37	35	37	37	37	37	37
医学物理士	-	1	0	0	0	1	1
理学療法士	31	33	31	32	31	32	33
作業療法士	13	15	12	14	15	16	16
言語聴覚士	2	3	3	1	1	2	2
視能訓練士	3	3	3	3	3	3	3
管理栄養士	12	12	12	12	12	14	14
栄養士	6	5	1	1	1	1	0
調理師・調理補助	32	26	22	22	22	23	23
臨床工学技士	16	17	15	15	15	15	15
歯科衛生士	6	6	5	6	6	6	5
歯科技工士	1	1	1	1	1	0	0
社会福祉士	9	8	7	6	4	4	6
臨床心理士	1	1	1	1	1	1	2
保育士	3	3	3	3	4	4	5
診療情報管理士	23	24	24	25	26	24	24
事務職員等	58	53	55	59	66	69	69
合計	1,021	996	979	990	1,022	1,032	1,024

参考資料 11 津山中央病院 概要

●主な医療機器

・da Vinci (ダヴィンチ)	-----1 台
・ハイブリッドOR	-----1 台
・陽子線治療装置	-----1 台
・MRI (3テスラ)	-----1 台
・MRI (1.5テスラ)	-----2 台
・マルチスライスCT (16列)	-----1 台
・マルチスライスCT (64列)	-----3 台
・PET / CT	-----1 台
・血管撮影装置 (バイプレーン)	-----2 台
・DSA (頭部、胸腹部用)	-----1 台
・リニアック (IMRT対応)	-----1 台
・デジタルマンモグラフィー	-----2 台
・ガンマカメラ (RI)	-----1 台
・一般撮影装置	-----4 台
・DRX 線TV	-----2 台
・X 線TV	-----3 台
・ESWL	-----1 台

●手術室

- ・11室 (クラス1000バイオクリーンルーム1室含む)

●主なシステム

- ・Eカルテ (電子カルテ)
- ・オーダーリング (外来・入院)
- ・看護支援システム等
- ・電子カルテ・バイタル連携システム (ユカリアタッチ)

●付属施設

- ・ヘリポート
- ・備蓄倉庫
- ・第1、第2エネルギーセンター
- ・長期入院患者院内学級 (小学生、中学生)
- ・津山慈風会記念ホール (154席)
- ・医師用マンション (25戸)
- ・看護師等独身宿舎 (36戸)
- ・研修医等独身宿舎 (54戸)
- ・院内保育園 (認可保育所)

●病院規模

敷地面積 84,787.92㎡ / 延床面積 52,837.76㎡

●病床数 515 床

- 一般病棟-----471 床 (SICU6床、NICU機能6床含む)
- 救命救急センター-----26 床 (ICU4床、HCU22床)
- 結核病床-----10 床
- 感染症病床-----8 床

●診療科目

内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器内科、呼吸器外科、感染症内科、糖尿病内科、神経内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、救急科、病理診断科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、麻酔科、ペインクリニック内科、ペインクリニック外科

●併設施設

- ・津山中央病院 救命救急センター
- ・津山中央健康管理センター
- ・津山中央看護専門学校
- ・医療研修センター
- ・フィットネス&スパ CARVATA
- ・岡山大学・津山中央病院共同運用がん陽子線治療センター

●関連施設

- ・津山中央記念病院
- ・津山中央クリニック
- ・津山中央訪問看護ステーション
- ・津山中央居宅介護支援事業所
- ・アーバンライフ二階町 (有料老人ホーム)
- ・ナイスデイ二階町 (小規模多機能型施設)

●第三者認証

- ・日本病院機能評価機構 (認定5回目)
- ・医療被ばく低減施設
- ・ジャパンインターナショナルホスピタルズ (JIH)

令和6年度事業計画

津山中央記念病院

目 次

1. 津山中央記念病院の理念、基本方針、行動規範
2. 令和6年度事業計画

1. 津山中央記念病院の理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年 8月14日

改定：平成24年 1月12日（第2版）

直近見直：令和 6年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

- お断りしない救急診療に努める
- 最先端の医療を提供する
- 地域医療機関との連携を強化する
- 地域に貢献する活動を推進する
- 教育、人材育成に傾注する
- 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 令和6年度事業計画

1. 年度目標

	目標	実績			
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
(1) 外来患者数	157.0 人/日	※155.7 人/日/10 ヶ月	155.0 人/日	149.1 人/日	150.8 人/日
(2) 入院患者数	60.0 人/日	※57.1 人/日/10 ヶ月	57.4 人	60.5 人	58.5 人
(3) 事業収益	1,554 百万円	1,533 百万円	1,519 百万円	1,572 百万円	1,634 百万円

2. 事業および行動計画

基本方針／行動計画		具体化項目	成果物／目標
1. お断りしない救急診療に努める	①診療機能充実	津山中央病院で急性期を脱した患者を受け入れる	一般病床利用率 85% 療養病床利用率 80%
		自前入院増	20 人以上/月確保
2. 最先端の医療を提供する	①糖尿病診療機能充実	質の向上	常勤の糖尿専門医の確保 研修会実施
	②透析センター機能向上	コメディカルの確保	看護師、MEの確保
	③リハビリ機能の充実	作業療法士の確保	作業療法士 1 名確保
		クリニックとの統合による充実	
3. 地域医療機関との連携を強化する	①地域連携機能強化	地域包括ケア病床の充実	運用の適正化
4. 地域に貢献する活動を推進する	①研修受入	中学生、高校生研修見学受入	受入施設を増やす
	②啓発活動	市民啓発実施	生活習慣病講座
	③第二種社会福祉事業	社会福祉事業継続	減免、無料相談等
5. 教育、人材育成に傾注する 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る。	①各部門別レベル向上検討	医局	専門医の充実
		看護部	看護師の確保
		透析室	ME等スタッフの確保
		栄養課	栄養指導の充実
		リハビリテーション課	リハビリの充実
		事務部	接遇の向上
	②職員倫理教育実施	職員倫理教育継続実施	年 2 回以上
	③医学研究推進	学会出張奨励	発表奨励
		研修出張奨励	伝達研修実施
		臨床研究奨励	医学雑誌発刊
6. 健全な経営に努める	①病床稼働率の確保	1 病棟 利用率確保 適正な運用 地域包括ケア病床の充実	利用率 90% 施設基準維持 3 人以上/月自前入院患者の確保
		2 病棟 利用率確保 適正な運用 (施設基準維持)	利用率 80%
7. 患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供する	①患者接遇レベルアップ	職員教育年間計画	年 3 回以上実施 成果の報告書提出
	②患者満足度調査実施	患者アンケートを実施する	年 2 回 結果分析と対策
8. 高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジをする	①目標管理制度導入	目標管理制度導入検討	目標管理制度
	②コンプライアンス（法令遵守）、危機管理体制強化	コンプライアンス教育監視強化	研修会開催、監視体制の強化
		危機管理体制強化	管理体制の強化
	③医療安全情報収集、対策機能を強化する	対策を全院周知徹底 トラブル発生時の検証	転倒・転落のアクシデントを減数 検証会議事録
	④医療安全風土向上	研修会を実施する	年 5 回

令和6年度事業計画

津山中央クリニック

目 次

1. 津山中央クリニックの理念、基本方針、行動規範
2. 令和6年度事業計画

1. 津山中央クリニックの理念、基本方針、行動規範

作成 : 平成13年 8月14日
 改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
 直近見直し : 令和 6年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

- ・ お断りしない救急診療に努める
- ・ 最先端の医療を提供する
- ・ 地域医療機関との連携を強化する
- ・ 地域に貢献する活動を推進する
- ・ 教育、人材育成に傾注する
- ・ 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 令和6年度事業計画

基本方針／行動計画		具体化項目	成果物／目標
1. お断りしない救急診療に努める	①診療機能充実	外来機能を充実する 津山中央病院の外来軽減	小児科診療枠を拡大する
2. 最先端の医療を提供する	①診療可能科の拡大	医師の確保	小児科医師確保
	②リハビリ機能の充実	訪問リハの充実	疾患拡大
3. 地域医療機関との連携を強化する	①地域連携機能強化	津山中央病院退院の在宅患者の外来診療を実施	外来患者数の増
4. 地域に貢献する活動を推進する	①第二種社会福祉事業	社会福祉事業継続	減免、無料相談等
5. 教育、人材育成に傾注する 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る。	①各部門別レベル向上検討	医局	専門医の充実
		看護部	看護師の確保
		事務部	接遇の向上
	②職員倫理教育実施	職員倫理教育継続実施	年2回以上
	③医学研究推進	学会出張奨励	発表奨励
		研修出張奨励	伝達研修実施
		臨床研究奨励	医学雑誌発刊
6. 健全な経営に努める	①患者の確保	広報を充実する	広報の充実
7. 患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供する	①患者接遇レベルアップ	職員教育年間計画	年3回以上実施 成果の報告書提出
	②患者満足度調査実施	患者アンケートを実施する	年2回 結果分析と対策
8. 高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジをする	①目標管理制度導入	目標管理制度導入検討	目標管理制度(試案)
	②コンプライアンス(法令遵守)、危機管理体制強化	コンプライアンス教育監視強化 危機管理体制強化	研修会開催、監視体制の強化 管理体制の強化
	③医療安全風土向上	研修会を実施する	津山中央病院合同

令和6年度事業計画

津山中央看護専門学校

目 次

1. 津山中央看護専門学校の理念・目的、教育目標
2. 今年度重点目標
3. 令和6年度事業計画

1. 津山中央看護専門学校の理念・目的、教育目標

作 成 : 平成13年8月14日

改 訂 : 令和3年4月1日 (第2版)

直近見直 : 令和5年4月1日

理念・目的

一般財団法人津山慈風会の理想とする仁愛の精神を養うと共に、人格の陶冶を目指し、幅広く教養を高め、高度な専門的知識及び技術を教授し、看護専門職として社会に貢献できる有能な人材を育成する

教育目標

- (1) 優しさ、思いやり、豊かな人間性をもち、倫理的配慮のもとに行動できる
- (2) 人間を統合された存在として、身体的・精神的・社会的に理解することができる
- (3) 自己理解・他者理解を通して人間関係を築くことができる
- (4) 看護実践に必要な基礎的知識・技術を習得することができる
- (5) 科学的思考により、自己の考えや行動を決定できる
- (6) 他の医療従事者と連携を取りながら、患者や家族へ適切な援助ができる
- (7) 地域に暮らす人々の健康生活に向けた支援を行うことができる
- (8) 社会情勢に関心をもち、看護と結びつけることができる
- (9) 向上心をもち、学び続ける力を身につけることができる

2. 今年度重点目標

- (1) 社会人や高校教員への情報発信を強化し、人物・学力ともに優秀な志願者の確保
- (2) 豊かな人間性を備え、主体的に行動できる学生の育成
- (3) ICT教育を推進し、臨床現場の先端機器に対応できる看護師の育成

3. 令和6年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 新カリキュラムを効果的に展開する	地域連携を取り入れたカリキュラムの展開
2. 優秀な学生を確保する	定員確保
3. 地元志願者を増加させる	県北出身の入学者を定員の7割以上確保
4. 看護師国家試験の教育充実を図る	合格率100%
5. 津山慈風会施設への就職率を上げる	就職率8割以上
7. 現基礎看護教育の動向の把握ができる	院内外の研修への積極的な参加
6. 専門能力や職員倫理の向上を図る	教育・研修の実施 職員倫理研修への参加

令和6年度事業計画

津山中央訪問看護ステーション

目 次

1. 津山中央訪問看護ステーションの理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和6年度事業計画

1. 津山中央訪問看護ステーションの理念、基本方針、行動規範

作 成 : 平成13年8月14日
改 訂 : 令和3年4月1日 (第2版)
直近見直 : 令和5年4月1日

理念

「利用者の特性を踏まえて、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指し、利用者の満足できる適切な訪問看護サービスを提供する」

基本方針

- ・利用者との信頼関係の構築に努める
- ・教育、人材育成に傾注する
- ・地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追及
2. 人材育成

3. 令和6年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した、利用者第一主義の看護を実践する。	利用者の満足度アップ（調査実施）
2. 接遇の改善を組織的、継続的に進める。（津山中央病院合同）	津山中央病院の研修に参加
3. 医療の質、医療スタッフを充実する。 （知識、技術の向上をはかる。）	スタッフの確保、充実
4. 医療安全体制を強化する。（津山中央病院合同）	津山中央病院に準ず
5. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	法人内外の研修に参加し、知識、技術を身につける
6. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	個別に研修計画を立て、実行する
7. 健全経営を維持するために経営管理を強化する。	看護体制強化加算の維持、機能強化型算定を目指す
8. 医療機関、ケアマネージャー等との連携を深め、利用者増を目指す	医療依存度の高い利用者、終末期の利用者を増やす 医療的ケア児の受け入れを増やす

令和6年度事業計画

津山中央居宅介護支援事業所

目 次

1. 津山中央居宅介護支援事業所の理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和6年度事業計画

1. 津山中央居宅介護支援事業所の理念、基本方針、行動規範

作成 : 平成13年 8月14日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直し : 令和 5年 4月 1日

理念

「事業所の介護支援専門員は、利用者が要介護状態にあっても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う」

基本方針

- ・ サービス依頼をお断りしない
- ・ 地域に貢献する活動を推進する
- ・ 地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・ 教育、人材育成に傾注する
- ・ 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追求
2. 働き方改革

3. 令和6年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した、利用者第一主義の支援を実践する。	津山中央病院の研修に参加
2. 接遇の改善を組織的、継続的に進める。(津山中央病院合同)	津山中央病院の研修に参加
3. 保健・福祉・医療サービス事業者との連携を強化する。	連携会議の実施
4. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	研修会に参加
5. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	県協会主催の研修会に参加
6. 質の高いケアプランの作成を実施する。	

令和6年度事業計画 アーバンライフ二階町

目 次

1. アーバンライフ二階町の理念、行動規範
2. 今年度重点目標
3. アーバンライフ二階町 令和6年度事業計画

1. アーバンライフ二階町の理念、行動規範

作成 : 平成22年 5月 1日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直し : 令和 5年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

契約者数 29 名、平均実入居 28 名、平均介護度 2.8 の達成

3. 令和6年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 安定的な運営を実施する	常に周辺病院・居宅等に情報を発信し、待機案件の確保を図る ご入居者の状態に気を配り入院期間等不在期間を短縮する
2. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します	スタッフの質的向上のため、研修の実施、全体会議での意識統一を図る 接遇研修の実施 各種委員会による改善提案
3. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します	ナイスデイ二階町と連携を図り、地域に根ざした施設として貢献する コロナ禍にあっても可能な限り近隣と連携を図る
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	自己目標作成および面談の実施 時代のニーズに合わせた業務改善 ケアマネを中心としたリスク管理 徹底した感染予防自己管理 ケア実施時の感染予防の徹底

令和6年度事業計画 ナイスデイ二階町

目 次

1. ナイスデイ二階町の理念、行動規範
2. 今年度重点目標
3. ナイスデイ二階町 令和6年度事業計画

1. ナイスデイ二階町の理念、行動規範

作成 : 平成22年 5月 1日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直し : 令和 5年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

登録者数 18 名維持、平均介護度 2.8 の達成

3. 令和6年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 安定的な運営を実施する	常に周辺病院・居宅等に情報を発信し、待機案件を確保する 登録時に介護度を意識し、介護度アップを心がける
2. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します	スタッフの質的向上のため研修の実施、全体会議での意識統一を図る 接遇研修の実施 各種委員会による改善提案
3. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します	アーバンライフ二階町との連携を図り、地域に根ざした施設として貢献する コロナ禍にあっても可能な限り近隣と連携を図る
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	自己目標作成および面談の実施 時代のニーズに合わせた業務改善 管理者を中心としたリスク管理 徹底した感染予防自己管理 ケア実施時の感染予防の徹底

令和6年度事業計画 フィットネス&スパ CARVATA（カルヴァータ）

目 次

1. フィットネス&スパ CARVATA（カルヴァータ）の理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. フィットネス&スパ CARVATA（カルヴァータ）令和6年度事業計画

1. フィットネス&スパ CARVATA（カルヴァータ）

の理念、基本方針、行動規範

作成：平成26年 4月 1日

改定：令和 4年 4月 1日（第2版）

直近見直し：令和 5年 4月 1日

理念

一人ひとりの健康で健やかな生活への貢献

基本方針

- ・地域に貢献する活動を推進する
- ・教育、人材育成に傾注する
- ・健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、提供する技術の質を高め納得と同意に基づく健康増進、疾病予防プログラムを提供します
2. 地域満足：地域の健康増進に寄与します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできるプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 会員数増
2. 疾病予防プログラム・サービスの提供
3. 新会員区分の運用開始

3. 令和6年度事業計画

1. 年度目標

		目標	実績		
		令和6年度	令和5年度（見込）	令和4年度	令和3年度
(1)	会員数	650人	573人	520人	497人
(2)	入会者数	200人	171人	150人	108人
(3)	退会者数	120人	117人	120人	144人
(4)	退会率	1.8%	1.8%	2.0%	2.3%
(5)	事業収益	60,000千円	56,000千円	52,700千円	52,575千円

2. 事業および行動計画

基本方針／行動計画		具体化項目	成果物／目標
1. クラブ収益の向上	①会員獲得	新聞折り込み (年2回) 春 施設、10周年記念イベント等 冬 施設、施設体験、イベント等	4月、5月、6月入会者 130人 1月、2月入会者 60人
		メディセル事業リニューアル イベント：体験イベント、セミナー 告知：新聞折込、ネット広告	年間利用者数：825名 年間売上：468万円 年間利益：436万円
		10周年記念企画 ○通年企画 ・会員紹介促進 ・見学会促進 ○期間企画(4月～6月)(1月、2月) 10周年記念イベント ・施設体験(特典付9 ・セミナー×測定会(姿勢×体組成) ・特別プログラム体験 ○スポット企画 ・体験プログラム&教室 姿勢改善、腰痛改善等	年間計画 ・会員数 ・売上高 ・体験、見学会参加者数 ・イベント一般参加者数 ・イベント入会転嫁率
	②退会率減少	会員管理の仕組みづくり ・担当制設置 ・会員管理のマニュアル化 ・会員情報の共有化 朝礼、昼礼、暮礼の実施	退会率2.0%以下 以下項目の前年比 ・クラブ未利用者数 ・日次来館者数 ・体験、見学者数
		顧客満足向上イベントの開催 ・4月～6月 10周年記念イベント ・10月 ハロウィンイベント&パーティー ・12月 クリスマスイベント 1月～2月 体脂肪減キャンペーン	
		専門プログラムの強化 目的別プログラムの推進 ・姿勢改善 ・肩こり・腰痛、ひざ痛 ・生活習慣病 ・ウエイトトレーニング ・ダンス系プログラム ・ヨガ・ピラティス等	来館人数 150人/日 スタジオ参加人数増加 平均参加人数 10人以上
2. シニア層のサービス 拡充	③経費削減	業務担当制の強化、効率化 ・業務担当の再編、適材適所 ・マネジメントサイクルの強化 報告、連絡、相談の徹底 ・ムダの見える化 ・PDCAサイクルの強化	管理費の減少(前年比) ・人件費(シフト管理) ・消耗品、雑費 ・水道光熱費
		①医療連携型メディカルフィットネス事業の推進	教室参加者数獲得 ・各回10人名 運動処方箋登録 ・年間30名
		病院との連携強化 ①糖尿病改善システム展開 ・医師との連携 ・患者の紹介、処方箋の発行 ・運動実施後のフィードバック ・教室企画、実施 ・3か月教室実施 クラブセミナーのイベント開催 ・10周年イベント時の特別セミナー 4月～6月 12月～1月 クラブ期間教室の開催 3か月教室、年間3回開催	イベントセミナー 各回10名目標 期間教室(3か月) 各回10名目標

	②シニア向けプログラムの推進	シニア層の問題、課題解消に向けたイベント開催（非会員獲得目的） ①10周年イベント ・セミナー＆教室 ・痛み改善 ・生活習慣病 ・筋力アップ ・ダイエット、美容、ストレス解消 ・体験イベント ・1日施設フリー利用 ・プログラムビジター体験 ・メディセル体験 ②期間＆通年イベント ・会員同伴ビジター利用 ・セミナー＆教室参加	各イベント非会員参加者 ・教室：定員の20%獲得 ・各セミナー：10名以上 ・各体験イベント：10名以上 ・ビジター利用：毎月3名以上
3. 地域認知度拡充	①広告	オフライン広告 ①新聞折込 ・年間3回（4月、5月、1月） ・10周年イベント等 ②ポスティング ・期間配布（新聞折込期間） ・スポット配布（イベント開催時）	年間入会者： 4月、5月、6月入会者 130人 1月、2月入会者 60人
		オンライン広告 ①WEB告知 ・HP ・SNS告知 情報提供頻度の向上、WEB入会、イベント参加獲得の仕組み検討	WEB告知 情報提供頻度： SNS更新：毎日 HP更新：毎月見直し

令和 6 年度事業計画

法人本部

目 次

1. 法人本部 令和 6 年度事業計画

1. 法人本部 令和6年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 減免事業を実施し、生活困窮者に医療を提供する	・ 津山中央病院 ・ 津山中央記念病院 ・ 津山中央クリニック ・ それぞれ全保険診療の10%以上
2. 奨学・育英事業	・ 奨学金の貸与、回収を実施
3. 新規事業の検討、実施	・ 老朽化した設備の更新工事 ・ 3F～6F 病棟などの改修工事、旧中央材料室の跡地利用、記念病院の改修工事の進捗推進 ・ 医療インバウンドの<u>拡充</u> ・ <u>大型機筋の計画的な更新と導入</u>
4. 拠点病院事業、補助事業	・ 拠点病院事業の補助金申請 ・ <u>地域医療介護総合確保基金（津山中央病院の減少）の申請</u>
5. コスト削減	・ 医薬品、医材のコスト削減の取り組み（薬事委員会、医材委員会、VHJ 共同購入） ・ 物価高騰（食材、光熱費等）への対策（節約、支援金獲得）
<u>6. 「職員から選ばれる病院」のための運営見直し</u>	・ <u>福利厚生の見直し</u> ・ <u>待遇見直し（定期昇給、ベースアップ）</u>